

桃山公園の魅力向上事業説明会（6月開催 5回目）

日 時 令和3年（2021年）6月26日（土） 16：00～17：45

場 所 桃山台市民ホール 会議室

参加者 21名

議 事 事業内容説明及び市民意見聴取

意見と回答

市民

- ・ 桃山公園の草刈りなどの管理費用は年間いくらかかっているのか。
- ・ 今後はどこが費用負担するのか。
- ・ 飲食店は必要か。池と高質でハイセンスの関連性は。
- ・ イベントは必要か。自主的な活動を阻害しないか。
- ・ 竹林でイベントが行われるのか。静かな環境だから住むところを決めた。
- ・ アンケート結果からなぜこのような計画になるのか。

吹田市

- ・ 桃山公園の年間予算は、約2,000万円。
- ・ 指定管理者制度となっても市が負担。
- ・ 新たな魅力創出のために必要と認識している。公園を象徴する池の畔に公園の環境や景観にふさわしい施設を設置予定。
- ・ 自主活動を尊重、イベントは必要に応じて実施する。
- ・ アンケートの全体集計では、新たな施設を追加してほしいとの声が現状維持よりも多い。

市民

- ・ 今後はどこが費用負担するのか。
- ・ 桃山台駅から乗降客数はどれくらいで、何人来ているのか。
- ・ 夜間は調べているのか。事故などが起きないようにしてほしい。

吹田市

- ・ 費用負担は役割分担のもと実施。収益施設の整備、管理は全額事業者負担、トイレなどの更新は一部事業者負担、維持管理は全額市負担。
- ・ 平成29年のデータでは、桃山台駅の乗降客数は約4万人。
- ・ 夜間利用者数は把握していない。

市民

- ・今のままが良い。自然を壊すことが魅力向上か。
- ・PFI は、プライベートファイナンスイニシアティブの略であり、日本語に直訳すると民間主導となるが、行政が主導すべき。
- ・駅前に駐車場はいらない。一酸化炭素を測ったのか。アセスメントは。

吹田市

- ・一部の樹木は撤去するが、公園全体の魅力は向上させる。
- ・権利権限を含め、主要な部分は行政が担い続ける。
- ・新たな施設設置、敷地造成などの許可権限は行政が持ち続ける。
- ・アセスメントは行っていない。

市民

- ・指定管理者制度のメリットは。なぜ P-PFI をするのか。
- ・指定管理者制度と P-PFI を導入せずに維持管理費を安くする努力が必要ではないか。他の手法は。
- ・駐輪場を含めて計画してはどうか。駐輪場のところは、車いすが通り抜けできない。

吹田市

- ・指定管理者制度の導入により、専属の事業者が公園の管理運営を担うこととなり、これまで以上にきめ細かな管理が行うことができ、市民サービスは向上すると認識。
- ・P-PFI 事業の実施により、行政の費用負担を抑えつつ、事業者の創意工夫による高質な施設整備が可能となる。
- ・コスト縮減については、ネーミングライツの導入など、他の手法も検討した中で、今回の手法が適切と判断した。
- ・駐輪場については、大きな老朽化も進まず一定の利用もあり、建替えは予定していない。
- ・改札口から地上に上がった駐輪場前の広場については、公園のエントランス部分と併せて改修できないか検討中。

市民

- ・ラジオ体操ができる場所がなくなる。ラジオを置いている倉庫がなくなると困る。
- ・市が駐車場を売ったのに駐車場を作るのは反対。
- ・売店、夜の営業反対。

吹田市

- ・池前の広場は確保予定。
- ・現在マンションが建っている場所は、大阪府タウン管理財団が民間事業者売却したものであり、吹田市が所有していた土地ではない。
- ・飲食店の営業時間については、近隣住民や自然環境などへ配慮し、店舗内容によっては夜の時間的制約を設ける予定。

市民

- ・収益施設で木を切らないでほしい。魅力の合意が得られていない。
- ・住民意見を聞く気があるのか。慎重な手法を。
- ・維持管理に係るコストカット額を示してほしい。
- ・Q2で維持できない可能性があると言う根拠は。比べた資料があるのか。総合計画でも20年という長期的な費用の試算をしていない中で、なぜ管理水準が維持できないと判断できるのか。
- ・Q19について、任意の提案がもらえることがあるのか。全貌を明らかにするべき。
- ・Q54について、収益施設の運営を他の事業者任せにできるとあるが、規制がかけられるのか。

吹田市

- ・新たな収益施設を設置することにより、一部の樹木撤去は伴うが、公園全体としての魅力は向上すると考える。
- ・今回の説明会を含め、住民意見を聴取させていただいている。
- ・指定管理者制度の導入により、管理費で指定管理期間20年として約8,000万円の削減を想定している。
- ・今後、維持管理費が増加する見込みがない中で、人件費や諸経費などの増加は確実に起こっており、このままのペースでは現在の管理水準は維持できないと判断した。
- ・事業者の任意提案は、あくまでも公園の魅力向上に資するものに限ったものであり、そうした意味で必須提案をベースにした協議は可能である。
- ・グループとして応募する場合は、構成団体及び役割分担を明確にしてからの応募となる。

市民

- ・ラクウショウが魅力なのに駐車場はやめてほしい。最低限、障がい者用は良い。
- ・駅からの眺望が良いから選んだ。

吹田市

- ・ラクウショウが公園の魅力であることは認識している。

- ・新たな収益施設を設置することにより、一部の樹木撤去は伴うが、公園全体としての魅力は向上すると考える。

市民

- ・30 台の根拠は。

吹田市

- ・現在想定している新たな公園施設や市内の他の公園の駐車台数から算出した。

市民

- ・前は南側に 60 台、今回は北側に 30 台。なぜ変わったのか。
- ・意見がどの程度反映されるのか。

吹田市

- ・市として 60 台を想定していたわけではなく、事業者から 60 台という提案があることを 3 月の説明会で説明した。
- ・位置については、収益施設を公園北側に予定していること、住宅地への影響を軽減するために北側に変更した。
- ・台数については、現在想定している新たな公園施設や市内の他の公園の駐車台数から算出した。
- ・意見については、反映できる内容については反映させていただく。

市民

- ・維持管理費が年間約 2,000 万円。それくらいでいいのか。吹田市もふるさと納税を受け付ければよい。
- ・千里南公園と桃山公園は一緒ではない。
- ・渋滞が発生するのでは。
- ・トイレは吹田市民ではない人が利用している。
- ・駅の近くに駐車場はいらない。
- ・駅をきれいにしてほしい。

吹田市

- ・年間の維持管理費 2,000 万円削減のためだけに事業を実施するわけではない。費用面だけでも、通常では実施不可能なトイレ建替えなどの施設の老朽化対策など、メリットは多い。
- ・公園ごとに特徴があることは十分理解し、桃山公園としての魅力が向上できるよう進めて

いく。

- ・渋滞対策については、具体的な案が出た時点で、警察や道路管理者と協議を進めていく。
- ・トイレは市民利用に限定するものではない。
- ・駐車場については、広域的な利用を促し、障がいのある方を含む公園利用者のために新たに設置するものである。
- ・駅舎は管轄外となるが、改札口から地上に上がった駐輪場前の広場については、公園のエントランス部分と併せて改修できないか検討中である。